

第 2 章 T T (淡山疏水・東播用水) 博物館

1 設置経過

淡山疏水は江戸時代明和 8 (1771) 年の山田川疏水発案に始まっていますが、発案時の測量図、明治時代からの疏水開削・改修工事の設計図、水利組合会の議事録、土地改良区理事会・総代会の議事録など、多くの資料が淡山土地改良区に残されていました。

これらの資料については、「淡山疏水の歴史の尊重」(第 3 編第 1 章 3 水利権包括に関する協定) に基づいて、平成 3 (1993) 年に近畿農政局によって展示室が建設されました。また、平成 16 (2004) 年頃から歴史遺産として淡山疏水の評価が高まり、兵庫県や関係市町による資料の調査などが行われるようになりました。この頃から T T 博物館の基礎が形成されつつあったといえます。

■平成 3 (1991) 年から平成 5 (1993) 年

近畿農政局東播用水農業水利事業所が淡山疏水関係資料の展示室を備えた東播用水南部管理事務所を建設し、疏水設計図面などをマイクロフィルム化しました。

■平成 16 (2004) 年

いなみ野ため池ミュージアム事務局(兵庫県東播磨県民局)が淡山疏水の歴史を示したパネルを製作して展示室を充実させました。

■平成 19 (2007) 年から平成 22 (2010) 年

淡山疏水検討会*が疏水主要施設の所在調査と淡山土地改良区所蔵の資料(図面・疏水主要写真・書類)を調査し、145 か所(トンネル、サイフォンなど)の施設台帳と約 3,500 の表題に分類した「資料目録」を作成しました。

淡山疏水検討会*：本検討会は、歴史遺産として淡山疏水を調査するため、兵庫県教育委員会と淡山地域市町の教育委員会文化財担当者などにより編成されました。調査結果報告書として、兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会が平成 24 (2012) 年 3 月に『淡河川山田川疏水調査報告書』を発行しています。



平成 24 年 3 月
兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会
淡河川山田川疏水調査報告書

以上のような背景の中、平成 25 (2013) 年 4 月、淡山土地改良区、東播用水土地改良区は T T 未来遺産運動を展開することとし、先行プロジェクトとして、東播用水南部管理所の展示室を発展させた T T (淡山疏水・東播用水) 博物館を設置することとしました。

平成 26 (2014) 年 1 月から開館準備が進められ、展示物の選定・配置、パネルの原稿作成などは、T T 未来遺産運動計画検討委員会の助言を得ながら両土地改良区の職員が協力して行いました。博物館の中核施設となる東播用水南部管理所の改造や展示物のレプリカ製作などは外部に業務委託されました。

淡山疏水と東播用水及びこれら地域を学ぶことができる身近な博物館として多くの人々から期待を受ける中、すべての準備が整い、平成 27 (2015) 年 1 月 23 日 T T 博物館が開館しました。当日には、

組員、地域の人々、兵庫県や関係市町などの関係者 130 人、加古郡稲美町立母里小学校の 4 年生児童 46 人、合わせて 176 人の参加を得て、淡山土地改良区、東播用水土地改良区は盛大な式典を開催しました。

兵庫県東播磨県民局による TT 博物館の紹介

東播磨県民局ホームページ

平成 27 年 2 月局長メッセージ（東播磨県民局長 真木 高司氏）

1 月 23 日（金）に、東播磨のいなみ野台地を中心に農業用水と上水道を供給している淡山疏水と東播用水の歴史などを紹介する「淡山疏水・東播用水博物館（稲美町野寺）」が開館し、祝う会が開催されました。

祝う会には、土地改良区や行政など関係者 130 名のほか、加古郡稲美町立母里小学校の 4 年生 40 名も参加し、式典や館内見学が盛大に行われました。

この「淡山疏水」は、東播磨地域の発展の礎を築いたビッグプロジェクトであり、自然的条件から水の確保が難しかった「いなみ野台地」を水田として開発するため、明和 8 年の構想から大正 8 年の完成まで約 150 年かけて実現した先人達の知恵や工夫、苦労による偉業です。

その後、昭和 45 年には東播用水事業として受け継がれており、今もこの地を潤し続け、昨年 9 月には、国際かんがい排水委員会（ICID）の「世界かんがい施設遺産」にも登録されるなど東播磨地域を代表する貴重な近代化遺産です。

県民局では、平成 27 年度から、これら先人達の偉業を次代の子供達へ継承していくため、小学生を対象に疏水の歴史や現地見学会など、体験型の「疏水学習」を進めることにしています。

「淡山疏水」のことを知らない方は、ぜひ、「淡山疏水・東播用水博物館」へご来館いただき、先人たちの息吹を感じてみてください。



テープカット

2 TT博物館の概要

(1) 施設

この博物館には、元の東播用水南部管理所と淡山土地改良区が開設していた展示棟などの本館と、淡山疏水及び東播用水の主要施設群であるサテライトがあります。

本館には、第1展示室とその2階に資料保管室及び談話室からなる棟と第2展示室の棟があります。また、第1、第2展示室前には、屋外展示場が設けられています。談話室では、保管資料を閲覧することができます。

(2) 博物館活動

この博物館では、淡山疏水開削工事や改修工事に関する資料と東播用水事業に関する各種資料などの収集、保管、展示とともに、これらを活用した学習活動を行なっています。

本館では文書や図面などを展示し、サテライトではダムやサイフォン、トンネルなどを展示しています。

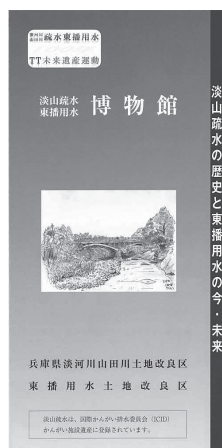
学習活動として、淡山疏水と東播用水、その地域などを学習するTT夏休み親子学習会を毎年実施しています。この学習会はTT未来遺産運動先行プロジェクトとして始まりました。

(3) 所蔵資料

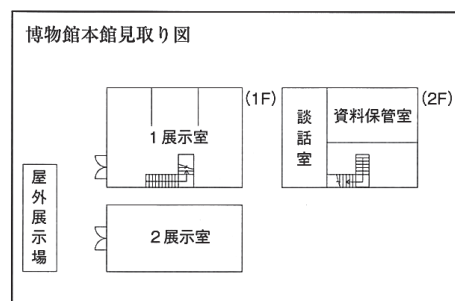
本館では約3,500点の各種資料を保管しています。それらを分類すると次のとおりです。

1	山田川疏水構想図（原図）	6	疏水敷地登記図面（原図・複写図）
2	淡河川疏水計画測量図（原図）	7	土地改良区理事会・総代会議事録（実物）
3	淡山疏水開削・改修設計図（原図・複写図）	8	土地改良区事務関係書類（実物）
4	淡山疏水開削・改修工事写真	9	関係出版物（実物）
5	測量機器及び設計用具（実物）	10	各種構造物の一部（実物）

（注）図面及び写真等については電子データ化されています。



TT博物館パンフレット



本館見取り図

(4) 展示資料

本館開設時の展示資料・説明パネルなどは次のとおりです。

第1展示室	
1	淡山疏水・東播用水概要図（実物）
2	淡河川疏水木製模型及び説明書（実物及び複製）
3	山田川疏水平面図（複製）
4	地域の開発と淡山疏水・東播用水の歴史説明パネル
5	山田川疏水の発案～淡山疏水着工説明パネル
6	山田川疏水構想図（複製）
7	淡山疏水の工事各種設計図（複製）
8	淡河川疏水・山田川疏水各完成時の写真（複写）
9	淡山疏水主要施設説明パネル
10	設計参考図書・測量機器（実物）
11	農家負担金説明パネル
12	淡山疏水敷地借地契約書及び添付図（複製）
13	山田池説明パネル
14	昭和・平成の工事写真（複製）
15	設計用品（実物）
第2展示室	
16	東播用水の概要説明パネル
17	東播用水の歴史説明パネル
18	東播用水事業説明パネル
19	東播用水二期事業説明パネル
20	東播用水主要施設写真（複製）
21	御坂サイフォン実験模型（実物）
22	淡山疏水・東播用水の効果と多面的な評価説明パネル
23	淡山土地改良区・東播用水土地改良区説明パネル
24	T T 未来遺産運動説明パネル
25	出版物（実物）

(5) 来館者数

開館以来、近隣住人、野外学習の小学生、県外土地改良区役員などの人々が来館されました。

令和2（2020）年3月末日までの来館者数の累計は7,433人です。

